

海と山の魅力人気



貝掘りなどを体験した生徒と楽しそうに話す受け入れ農家の脇川紘子さん(右端) 豊後高田市の真玉海岸

グリーンツーリズム(GT)が盛んな豊後高田、国東の両市で、今年も多くの人たちが農泊体験に訪れている。宿泊者は山間部でトレッキングや寺巡り、海沿いでは潮干狩りなどを満喫。海と山、両方の魅力を味わえる地域の特色が好評を得ている。

今年3350人参加へ

今年5月上旬にスター学生や日本文化に関心のあつた。参加者は教育旅行の中る留学生らが中心。北九州

市や広島市、神戸市、大阪市からが多い。県GT研究会東部地区(豊後高田市GT推進協議会、国東市くみGT研究会)によると、両市の受け入れ農家は80組。今年3350人の宿泊者を見込んでいる。

北九州市から訪れた思永中学校の2年生205人を、両市の地元農家43組が受け入れた。

豊後高田市黒土の脇川紘子さん(68)方には4人が泊まり、そば打ちや農作業などを楽しんだ。真玉海岸の干潟でマテ貝掘りに挑戦した生徒は「大きい貝が採れた」「カニもいた」など声を弾ませていた。

脇川さんは「子どもたちに自然の恵みを感じてもらいたい。後でお礼の手紙が届くのも楽しみの一つ」と話している。

グリーンツーリズムが盛んな豊後高田、国東の両市で、今年も多くの人が農泊体験に訪れています。

(2013年6月30日朝刊17面)

①記事中の中学生は、何を体験しましたか。

.....
.....
.....
.....

②両市に多くの体験者が訪れる理由は何でしょう。

.....
.....
.....
.....

③自分たちの地域でできる体験は何だろう。考えてみよう。

.....
.....
.....
.....